

話題提供

令和7年8月30日

文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官
国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター 総括研究官

佐藤 学



教育振興基本計画 令和5年6月16日閣議決定



「目標、基本施策及び指標」における「目標14 NPO・企業・地域団体等との連携・協働」の基本施策の一つ「企業等との連携」において、職場体験活動、就業体験活動(インターンシップ)の普及促進を図ることが示されています。

教育振興基本計画(令和5年6月16日閣議決定)

Ⅳ.(目標、基本施策及び指標) 目標14【基本施策】

○企業等との連携

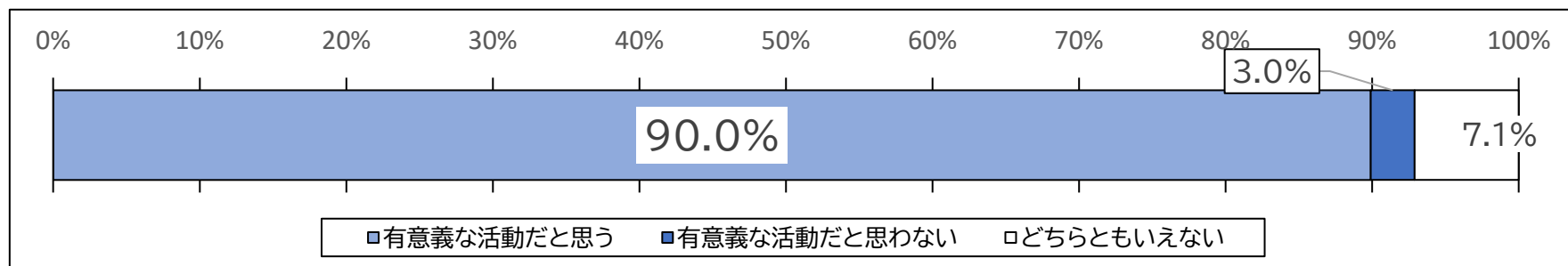
- ・ 地域や企業と学校等が連携・協働したリアルな体験活動の機会の充実を推進する。その際、体験活動に関する情報を網羅的に集約したポータルサイトの構築や体験活動の地域における推進体制の構築に取り組む。
- ・ 学校が地元企業等と連携した起業体験、職場体験活動、就業体験活動(インターンシップ)の普及促進を図る。
- ・ リカレント教育の体制構築や教育プログラム開発等において、企業や地方公共団体等との連携促進を図る。



キャリア教育に関する総合的研究第二次報告書(令和3年10月)

インターンシップ

就業体験活動(インターンシップ)に参加しての感想



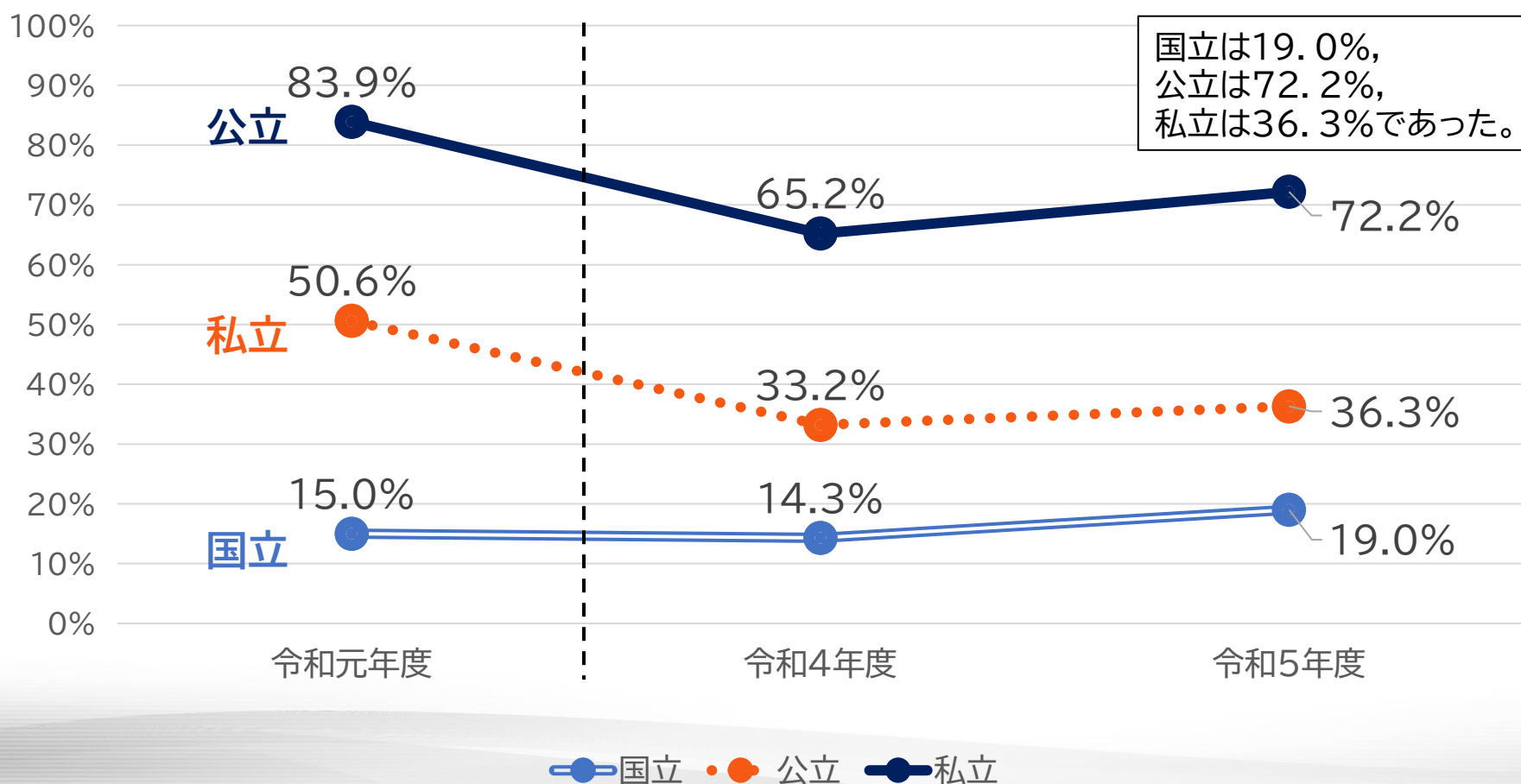
令和5年度職場体験・
インターンシップ実施
状況等結果(概要)



令和5年度 職場体験・インターンシップ実施状況等調査

インターンシップ

全日制・定時制・通信制全体を通じた設置主体別の実施率



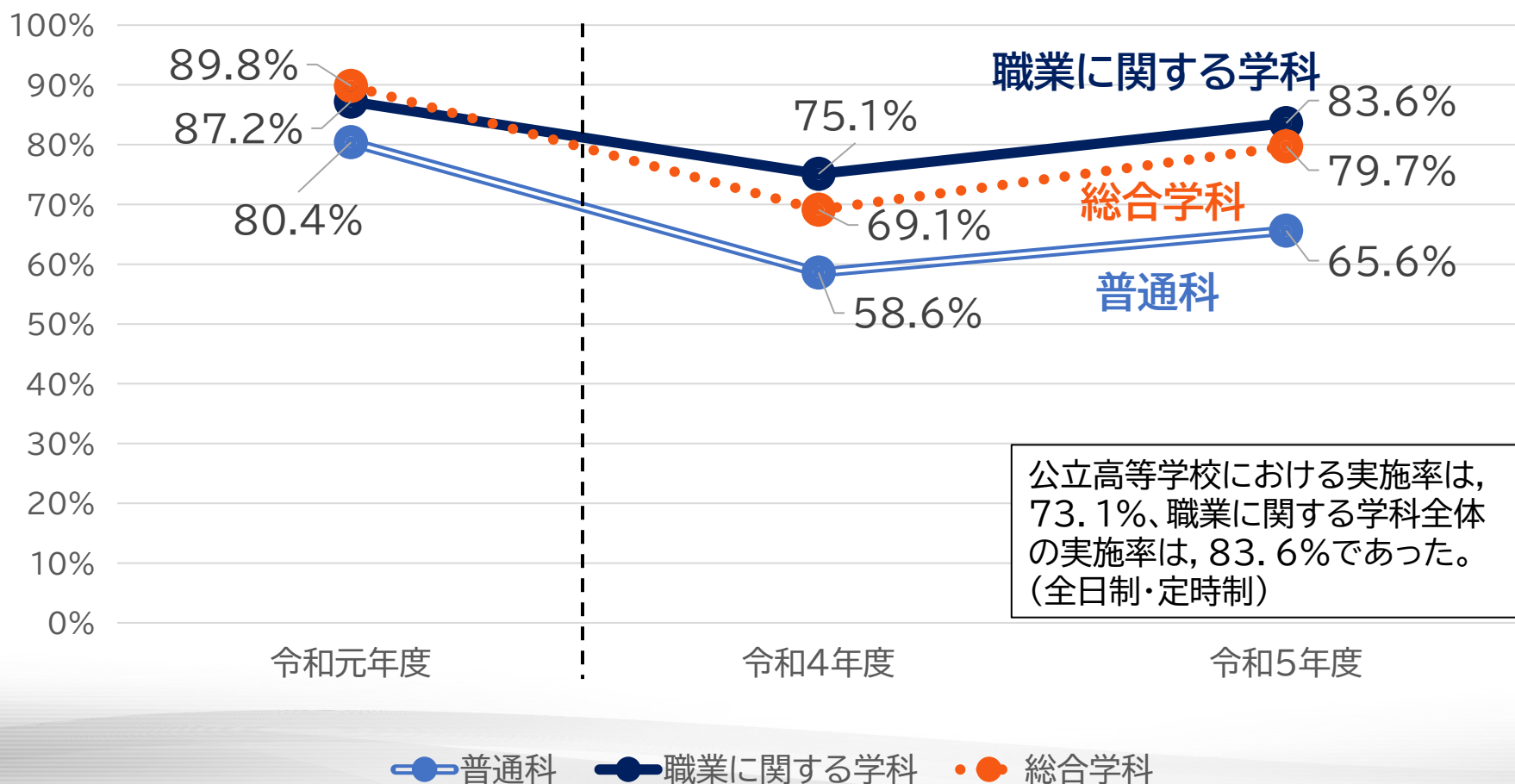
令和5年度職場体験・
インターンシップ実施
状況等結果(概要)



令和5年度 職場体験・インターンシップ実施状況等調査

インターンシップ

公立高等学校における実施率と職業に関する学科全体の実施率



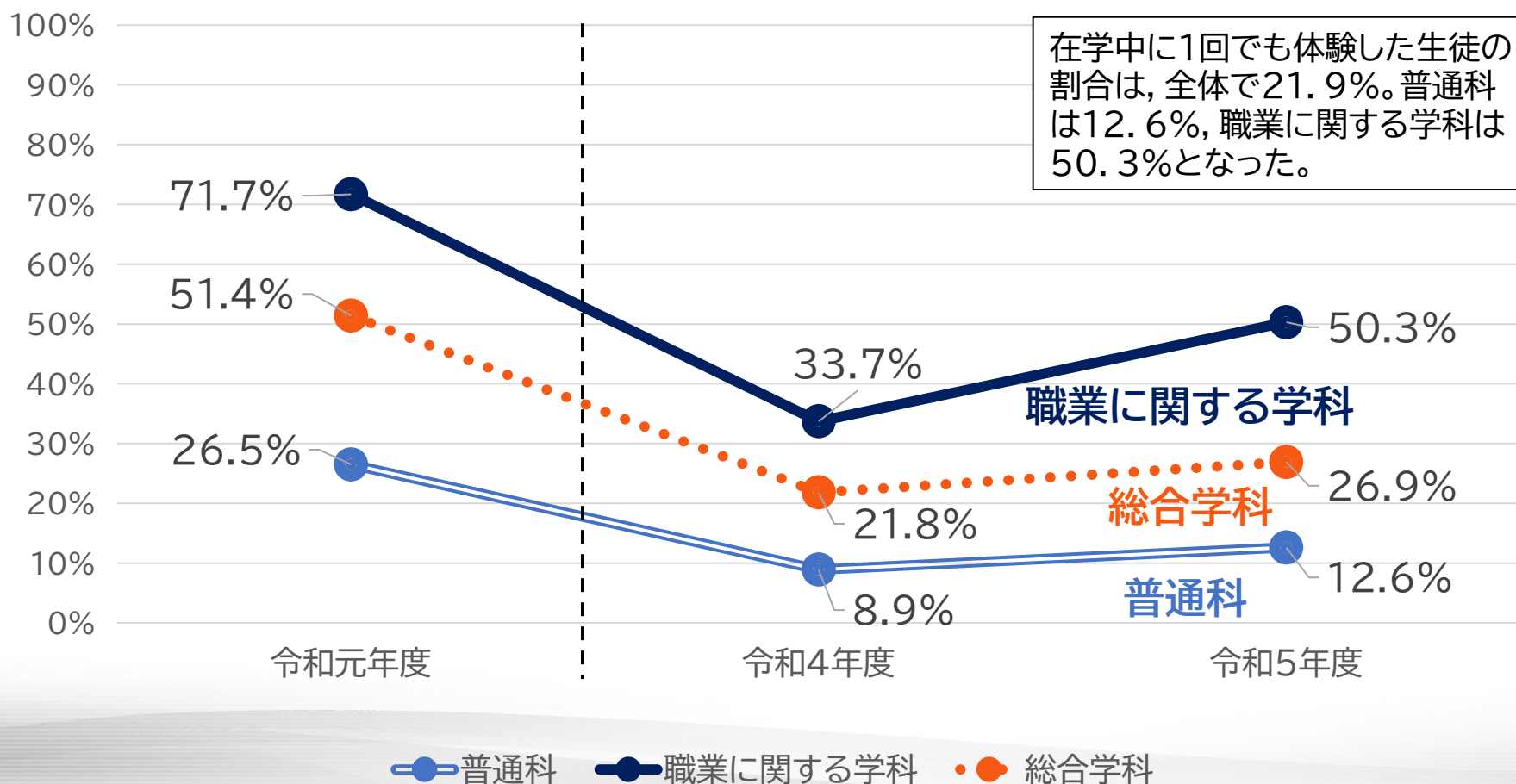
令和5年度職場体験・
インターンシップ実施
状況等結果(概要)



令和5年度 職場体験・インターンシップ実施状況等調査

インターンシップ

公立高等学校 学科別集計において在学中に1回でも体験した生徒の割合



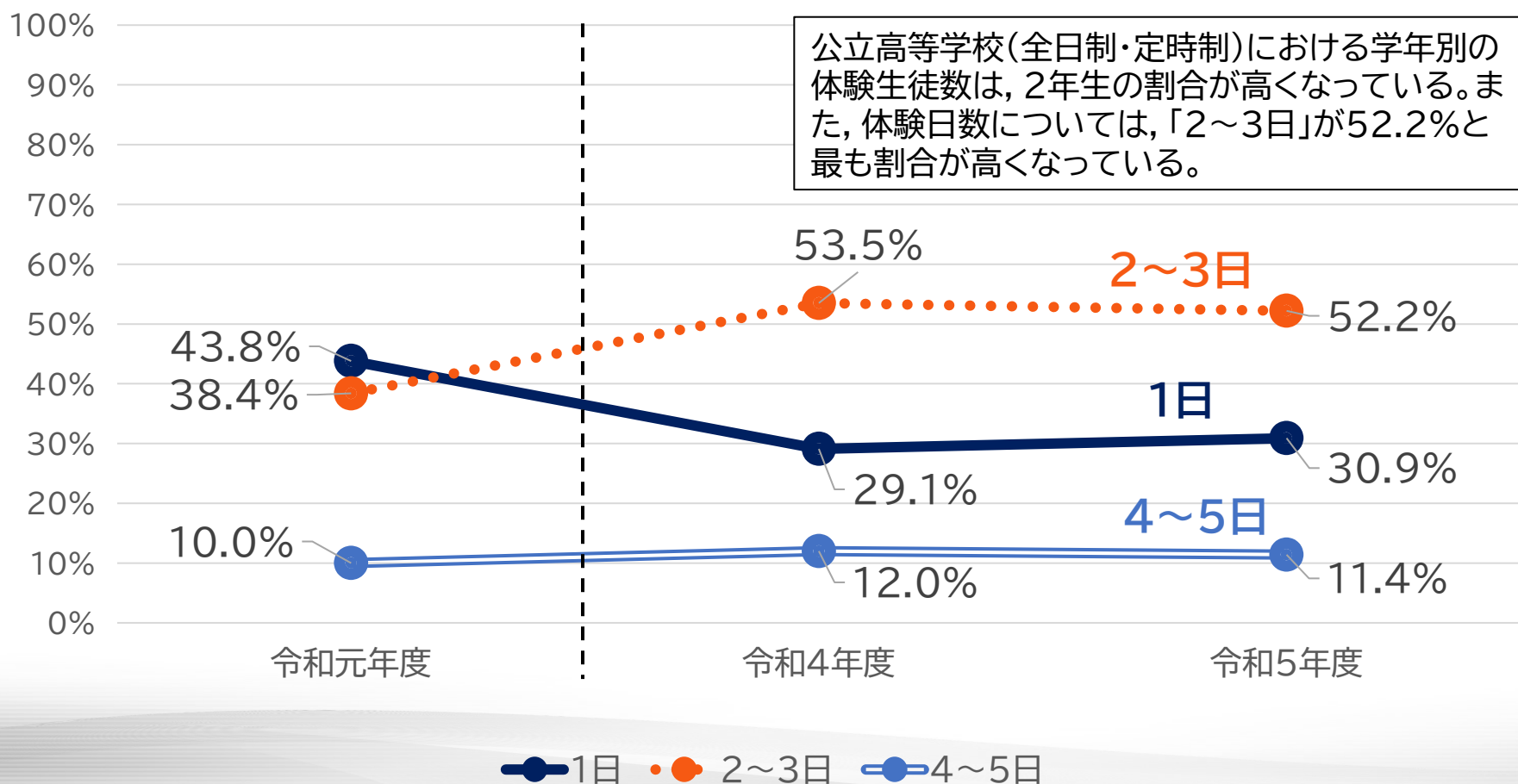
令和5年度職場体験・
インターンシップ実施
状況等結果(概要)



令和5年度 職場体験・インターンシップ実施状況等調査

インターンシップ

公立高等学校における学年別の体験生徒数及び体験日数



※ 太字、下線、色付けは引用者による



キャリア教育に関する総合的研究第二次報告書(令和3年10月)

インターンシップ

職業に関する体験活動の重要性について

生徒は自分の個性や適性を考える学習や社会人・職業人としての常識やマナーの学習を期待し、職業体験活動(インターンシップ)に参加した大多数が有意義な活動だと感じている。

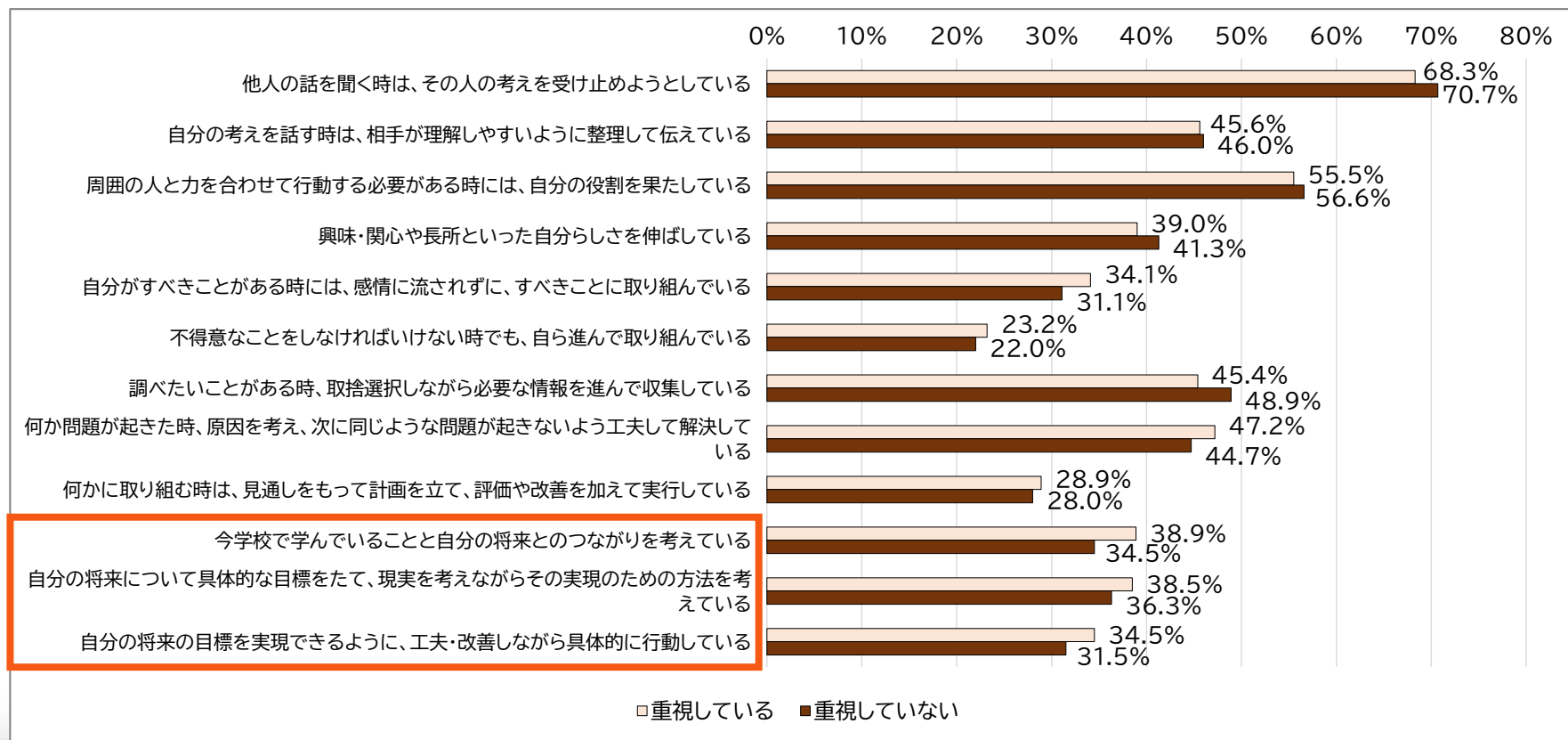
- 就業体験活動(インターンシップ)に参加した生徒の 90%が「有意義な活動だと思う」と回答している。
- 自分の個性や適性(向き・不向き)を考える学習や社会人・職業人としての常識やマナーの学習への期待が大きい。
- 全体計画で「就業体験活動の充実や事前指導・事後指導」を重視した学校では、生徒の「キャリアプランニング能力」が高い。
- 全体計画で「就業体験活動の充実や事前指導・事後指導」を重視した学校の生徒は、その意義を十分に感じている。

(一部抜粋)



キャリア教育に関する総合的研究第二次報告書(令和3年10月)

全体計画での「就業体験活動等の事前指導・事後指導」の重視と生徒のキャリア意識



※生徒調査の回答は「いつもそうしている」「時々そうしている」「していない」から1つを選択する形式であったが、これらの回答結果と全体計画の重視の有無について χ^2 検定を行った結果、有意差が見られたのは、「今学校で学んでいることと自分の将来とのつながりを考えている」($\chi^2(2)=7.787, p<.05$)であった。



教育振興基本計画 令和5年6月16日閣議決定



「目標、基本施策及び指標」における「目標1」の基本施策の一つとして、「キャリア教育・職業教育の充実」が示されています。

教育振興基本計画(令和5年6月16日閣議決定)

Ⅳ.(目標、基本施策及び指標) 目標1【基本施策】

○キャリア教育・職業教育の充実

・幼児教育から高等教育まで各学校段階を通じた体系的・系統的なキャリア教育を推進する。初等中等教育段階においては「キャリア・パスポート」等を活用し、児童生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育成する取組を通じて、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくキャリア発達を促進する。また、特色ある教育内容を展開する専門高校の取組と成果の普及を推進する。

中央教育審議会答
申「今後の学校に
おけるキャリア教
育・職業教育の在
り方について」



中教審答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」

各学校段階におけるキャリア教育の推進のポイント

幼児期	自発的・主体的な活動を促す
小学校	社会性、自主性・自立性、関心・意欲を養う
中学校	自らの役割や将来の生き方・働き方等を考えさせ、目標を立てて計画的に取り組む態度を育成し、進路の選択・決定に導く
後期中 等教育	生涯にわたる多様なキャリア形成に共通して必要な能力や態度を育成し、これを通じて勤労観・職業観等の価値観を自ら形成・確立する
特別支 援教育	個々の障害の状態に応じたきめ細かい指導・支援の下で行う
高等 教育	後期中等教育終了までを基礎に、学校から社会・職業への移行を見据え、教育課程の内外での学習や活動を通じ、高等教育全般で充実する



キャリア発達にかかわる諸能力の育成に関する調査研究報告書

小学校・中学校・高等学校におけるキャリア発達

小学校	進路の探索・ 選択にかかる 基盤形成の時期	- 自己及び他者への積極的関心の形成・発展 - 身のまわりの仕事や環境への関心・意欲の向上 - 夢や希望, 憧れる自己イメージの獲得 - 勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成
中学校	現実的探索 と暫定的選択 の時期	- 肯定的自己理解と自己有用感の獲得 - 興味・関心等に基づく勤労観, 職業観の形成 - 進路計画の立案と暫定的選択・生き方や進路に関する現実的探索
高等学校	現実的探索・ 試行と社会的 移行準備の時期	- 自己理解の深化と自己受容 - 選択基準としての勤労観, 職業観の確立 - 将来設計の立案と社会的移行の準備 - 進路の現実吟味と試行的参加

小学校・中学校・高等学校
キャリア教育推進の手引－
児童生徒一人一人の勤労観、
職業観を育てるために－



小学校・中学校・高等学校キャリア教育推進の手引－児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てるために－

「将来」に関するキャリア発達の特徴例

小学校	低学年	－	進路の探索・ 選択にかかる 基盤形成 の時期
	中学年	将来 の夢や希望をもつ	
	高学年	将来 の夢や希望をもち、実現を目指して努力しようとする	
中学校	1年	将来 の職業生活との関連の中で、今の学習の必要性や大切さを理解しようとする	現実的探索 と暫定的選 択の時期
	2年	将来 への夢を達成する上での現実の問題に直面し、模索する	
	3年	将来設計 を達成するための困難を理解しそれを克服するための努力に向かう	
高等学校	前半	将来設計 を立案し、今取り組むべき学習や活動を理解し実行に移す	現実的探索・ 試行と社会 的移行準備 の時期
	後半	自分の能力・適性を的確に判断し、自らの 将来設計 に基づいて高校卒業後の進路について決定する	

(参考)小学校・中学校・高等学校キャリア教育推進の手引－児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てるために－(平成18年11月 文部科学省)より作成



学校教育法 第50・51条

高等学校の目的

学校教育法 第50条

高等学校は、中学校における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて、高度な普通教育及び専門教育を施すことを目的とする。

高等学校の目標

学校教育法 第51条

高等学校における教育は、前条に規定する目的を実現するため、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

一 義務教育として行われる普通教育の成果を更に発展拡充させて、豊かな人間性、創造性及び健やかな身体を養い、国家及び社会の形成者として必要な資質を養うこと。

二 社会において果たさなければならない使命の自覚に基づき、**個性に応じて将来の進路を決定させ**、一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させること。

三 個性の確立に努めるとともに、社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと。

マナビカエル
高校の学びを次の時代へ

様々な事例を
紹介しています

先生の話を
聴く

授業事例を
知る

このサイトについて
プライバシーポリシー
スタート

高校の学びを次の時代へ

全国の高校で取り組んでいる学びの姿を伝えるポータルサイト

聴く
特色化・魅力化

私立 北海道
札幌新陽高等学校
職員会議をやめて、対話の時間に。「学習する組織」を目指す札幌新陽高等学校が取り組

聴く
特色化・魅力化

公立 東京都
東京都立園芸高等学校 園芸科

生徒が
「リーダーシップを
発揮できた」と
実感してくれた



「マナビカエル」
全国の高校で取り組んでいる学びの姿を伝えるポータルサイト

<https://www.mext.go.jp/manabikaeru/> 企画：文部科学省

まつナビ・プロジェクト



地域の課題を考え、自分のキャリアを考える。3年間を通して行なう松浦高等学校の「まつナビ・プロジェクト」



「マナビカエル」

全国の高校で取り組んでいる学びの姿を伝えるポータルサイトより引用

<https://www.mext.go.jp/manabikaeru/> 企画:文部科学省

まつナビ・プロジェクト



高校1年生の仕事図鑑発表会

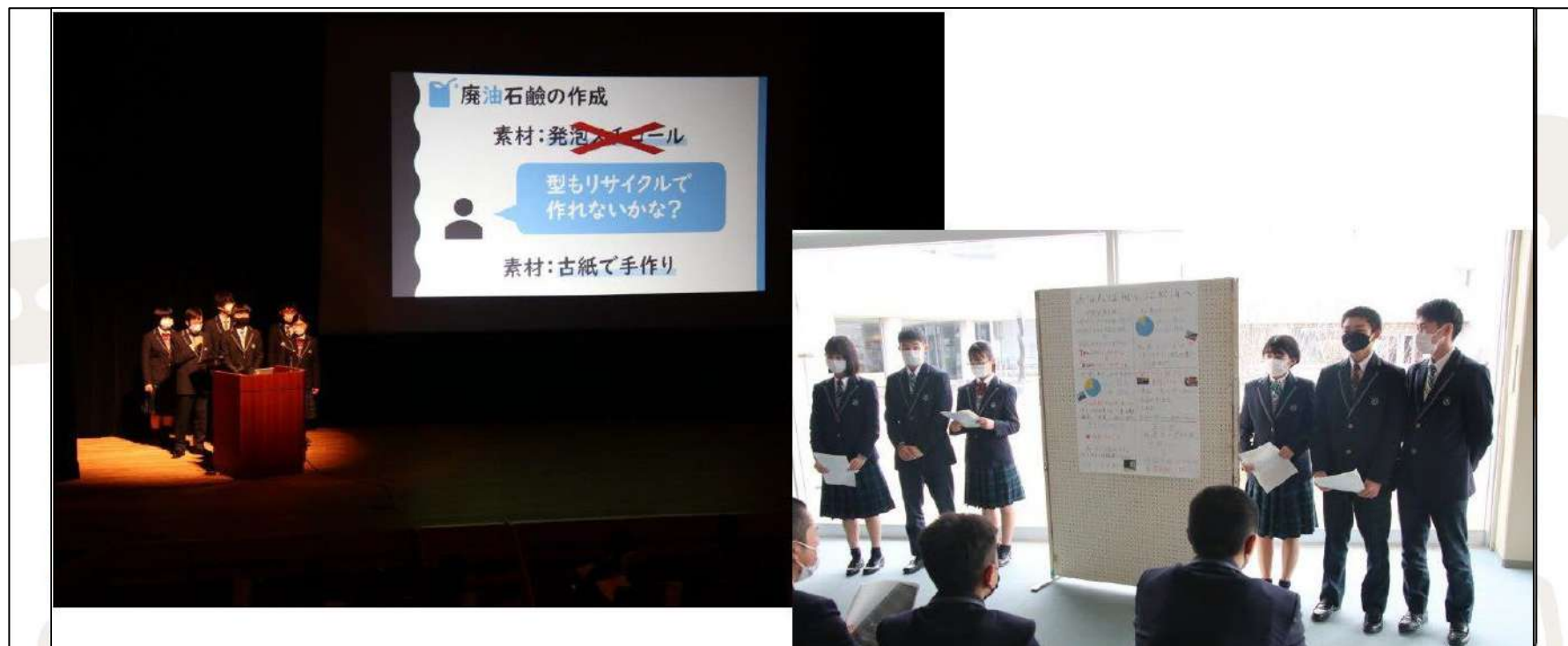


「マナビカエル」

全国の高校で取り組んでいる学びの姿を伝えるポータルサイトより引用

<https://www.mext.go.jp/manabikaeru/> 企画：文部科学省

まっナビ・プロジェクト



松浦文化会館で開催された2年生の「課題研究発表会」



「マナビカエル」

全国の高校で取り組んでいる学びの姿を伝えるポータルサイトより引用

<https://www.mext.go.jp/manabikaeru/> 企画: 文部科学省

まつナビ・プロジェクト



一度立ち止まって考え直す時間を取り入れる
実際のキャリアに繋がる「まつナビ・プロジェクト」



「マナビカエル」

全国の高校で取り組んでいる学びの姿を伝えるポータルサイトより引用

<https://www.mext.go.jp/manabikaeru/> 企画:文部科学省

まつナビ・プロジェクト

まつナビのテーマ	テーマと関連性の高い進学・就職先
姉妹都市との国際交流	福岡女子大学国際文理学部
住みやすい街(MR松浦駅手すり設置)	法政大学現代福祉学部 長崎県立大学地域創造学部、ほか
地域活性化のためのフリーマーケット開催	株式会社 松葉屋(スーパーまつばや)
地域活性化のためのレクリエーション	ハウステンボス株式会社 ホテル にっしょうかん
幅広い世代が参加できるスポーツイベント企画	西九州大学健康栄養学部大原スポーツ 福岡リゾート＆スポーツ専門学校 公務員専門学校福岡校、ほか
松浦の街を盛り上げるチラシ作成	伊万里信用金庫、ほか



長崎県立学校ホームページ／【まつナビ】松浦高校まつナビと進路先の
関連についてより一部抜粋して作成

<https://www2.news.ed.jp/bunrui/syokai/tokusyoku/70120matsunavi/190418.html>

中央教育審議会答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」



子供が社会や仕事・職業について 実感をもって理解する活動

内側で

学校内で行われる教育活動に地域・社会の人々が参加する方法

例えば…

- 卒業生や社会人の講話
- グループに分かれての話し合い
- 知識や技能を生かした授業

外側で

子供・若者が企業や地域・社会に出向いて実際に働く人々や仕事に触れる方法

例えば…

- インタビューや対話
- ジョブシャドウ
- 職場見学
- 職場体験活動・就業体験活動

各学校の役割

目的や期待する効果等の説明

支援方法の提示

教職員の主体的かかわり

施設面での対応整備

学校

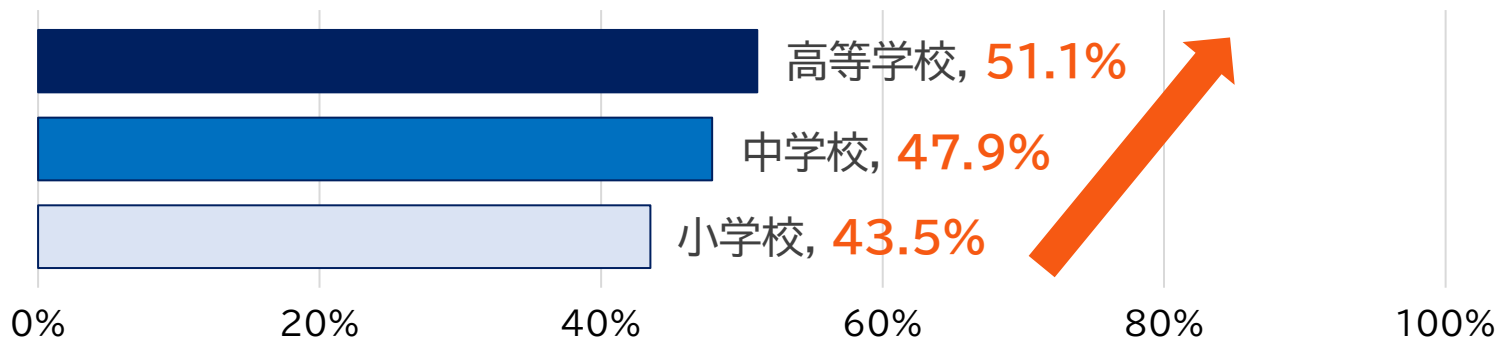
キャリア教育の計画・実践と地域の課題解決

キャリア教育に関する総合的研究
第一次報告書
(令和2年3月)



学校調査

キャリア教育の計画を立てる上で「保護者や地域、外部団体との連携を図ること」を重視した学校の割合



学校調査

キャリア教育の現状について当てはまると思うこと

「キャリア教育の実践によって、学校や地域の課題解決に向かっている」

